

# 映画「核分裂過程 SPALTPROZESSE」を見る前に 知っておくとよくわかるキーワード

## ●ヴァッカーズドルフ

ヴァッカーズドルフはドイツ（旧西ドイツ）のバイエルン州にある緑豊かな小さな村。オーバープファルツ地域（県）にある。チェコやオーストリアの国境に近い。1985年、ここに使用済み核燃料再処理工場が建てられることになった。

1970年代半ばから西ドイツの再処理工場建設計画は何度も出されてきたが、そのたびに非常に大きな反対運動によって断念された。11番目に最後の候補地として選ばれたのがヴァッカーズドルフだった。

建設中止になった原発や再処理工場の名前を十字架に刻み墓標に見立てる。丸木小屋村で



## ●丸木小屋村

1985年12月、建設予定地の森で根こそぎの伐採が始まると、4万人もの人々が反対デモに集まった。この時、たくさんの小屋やテントからなる「丸木小屋村」が森の中に作られた。各地から集まって来た人々と地元の人々が交流し、一緒にたたかった。

WAA NEIN=再処理工場反対



## ●シュトラウス

バイエルン州は保守の牙城と言われる。その州首相であり、キリスト教社会同盟（CSU）の党首でもあるシュトラウスが、再処理工場を強引に誘致した。彼は西ドイツの初代原子力大臣（1955年）で、核利用の強力な推進者。



## ●シュエイラー郡長

ヴァッカーズドルフの属するシュバンドルフ郡の郡長。住民の7割の支持を得て、工場建設に反対している。郡長は建設許可の権限を持っていたが、州政府は「対シュエイラー法」を作ってその権限を奪った。



## ●チェルノブイリ事故

1986年4月26日のチェルノブイリ原発（旧ソ連・ウクライナ）事故はヨーロッパにも放射能汚染をもたらしたが、特にバイエルン地方は深刻な被害をこうむった。これ以後、再処理工場反対の運動は広範囲に広がった。

## ●抗議のミサ・抗議の散歩

建設予定地の周りはデモ禁止区域にされた。そこで人々は隣接する森の中に礼拝所を設け毎週日曜にそこで「ミサ」を行った。そして工場敷地の周りを「散歩」して抗議の意思表示をした。少ない時は数十人、多い時は数万人の規模になった。

森のミサで



- マイクロレントゲン 100マイクロレントゲン=1マイクロシーベルト（ガンマ線）  
23マイクロレントゲン といえば、0.23 $\mu$ Sv
- ヨウ素129 半減期1570万年。再処理工場から放出される。